令和2年度　島根県歯科技術専門学校関係者評価

評価委員	島根県歯科衛生士会代表　安部美智野、島根県歯科技工士会代表　田中忠重 島根県歯科技術専門学校同窓会代表　徳島裕二、臨床実習施設関係者代表　森脇美保子 島根県歯科医師会法律顧問　津田和美

	評価委員意見	今後の改善方策
（1）教育理念・目標	①理念と目標を伝えるだけでなく、心の育成も含めた目指す学生像に向けて、どう取り組んでいくかが必要に思います。 ②教育理念・目標は、学内掲示とあるが発信力が弱いと感じる。頻回に周知、確認していくことで各段階に応じた知識の中での理解が可能と考える。 ③とても高い平均点ですので目標に達しつつあると思います。 ④適切になされていると思料します。	①教育理念・目標の発信⇒HPに掲載、各科目のシラバスに目標を掲げる。 ②心の育成⇒心理学での対応や合宿で座禅・法話を取り入れてみる。
（2）学校運営	①すべての項目においてマイナスとなっている。コロナ禍が影響しているのか不明であるが、教育の質を保つことは重要であり、業務の精選、効率化による働き方改革が必要ではないでしょうか。 ②歯科業界のみならず医療界の取組の中のコンプライアンス体制を強化していく必要がある。 ③良好だと思います。 ④適切になされていると思料します。	①業務の精選・効率化⇒すでに業務の精選は始めているが、さらにリモートワークの整備推進についても検討していく。 ②コンプライアンス体制⇒コンプライアンス研修を行う。定期的な職員の自己評価やアンケート調査を行い、モニタリングしていく。
（3）教育活動	①多職種連携が求められる中、医療人・社会人としての教育及び評価が必要である。 ②各専任教員のご努力により、とても良い教育をされていると思います。評価すべきだと思います。 ③適切になされていると思料します。	①医療人・社会人としての教育⇒ST,OTなどの職種の講義を増やす。すでに臨床実習の現場では見学として取り入れている。
（4）学習成果	①４．について、昨年と比較し0.5ポイント増加しているが、何か取り組みをされたのでしょうか。 ②資格取得についての情報発信があると良い。歯科衛生士会加入へ繋がると考える。 ③ほぼ適切になされていると思料します。	資格認定についての情報発信⇒歯科衛生士会の入会案内の際に情報提供していただく。

（5）学生支援	①6．について、卒業生へのアンケートだけでなく、在校生へのアンケートをしてはどうか。支援体制が充実していると離職防止の手立ての一つになると考えます。 ②数年前の統計ではあるが、卒業後３年以内の離職率が高かった。歯科衛生士不足が原因の一つでもあるが就職して即戦力を求められることに加え、高度な技術を要する事が多い中、双方（雇用者と就業者）におけるギャップが生じている。この事は卒業後のDHにとってメンタル的要素を含んだダメージであり、離職率に繋がることも否定できない。卒業生が相談できる体制、例えばメール相談等で支援できると良い。 ③適切になされていると思料します。	在校生へのアンケートは３年生を対象に行っている。卒後１か月の時点で卒業生にメールを送って就業状況や悩みなど相談に応じている。返信のない人の対応は難しい。退職した人達が次の職場を探せるように医療管理が発信されている求人情報を常に亢進してもらうようお願いする。
（6）教育環境	①コロナ禍での授業や実習等大変だったと推察します。その中での評価が微減にとどまっていることは、先生方が一生懸命に取り組まれた結果と思います。 ②防災における体制は、マニュアルを含めた整備が急務である。 ③ご尽力されている事と思います。 ④適切になされていると思料します。コロナ対策で苦労されていると思います。	新型コロナ感染症を含め、防災マニュアルはすでに整備されている。
（7）学生の受入れ状況	①年によって入学生の数に変動があるものの毎年一定数の入学制が確保されていて良い。 ②適切になされていると思料します。	引き続き学生募集の広報活動に努めます。
（8）財務	①把握できていないため記入できず。 ②適切になされていると思料します。	

（9）法令等の遵守	①把握できていないため記入できず。 ②適切になされていると思料します。	
（10）社会貢献・地域貢献	①経年的に見ても他の項目と比較すると評価が近い事が見て取れますが、ホームページを見ると時間のない中、学校が協力されていることが良く分かります。 ②学生のボランティア活動の奨励・支援としてボランティア活動の点数制を導入してはどうでしょうか。Pointごとに（活動時間のポイント制etc）加点し、終年時に評価していくと意識が高まるのでは？と考える。 ③コロナ禍での対外活動は大変だと思います。	ボランティア活動の評価を成績証明書等に書き入れる。
（11）その他	①学生にも学校評価をしてもらうと、より具体的に取り組めると思います。 ②技工士科の学生に、義歯が患者様に入るまでを実際に見学できると良いと思います。例えば咬合採得、試適、セットなど一人の患者様を追って見学するとか。 ③2年間の限られた時間の中で、国家試験合格を第一目標として教育し、卒後の就職の支援までするという事は、大変忙しいと思いますが、自己評価結果を見る限り、効率的に行われているものと思います。即戦力となる人材を創出することは難しいと思いますので、死海領の基礎と医療に携わる人間としての自覚を持つことを徹底してほしいです。最先端技術にはあまり囚われないように。モノづくりに関しては、卒後いくらでも身に付きます。 素晴らしい教育理念と目標があります。周知してください。	①学生による各講義の評価は行っているが、学校に期待する意見を聞くアンケート調査も行いたい。 ②技工士科の学生全員ではないが、歯科医院で臨床見学をさせて頂いている